

岐阜工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	日本語
科目基礎情報						
科目番号	0086		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 3		
開設学科	環境都市工学科		対象学年	3		
開設期	通年		週時間数	3		
教科書/教材	『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解 上級』（東京外国語大学留学生日本語教育センター, 2015） 他にプリント、辞書等。					
担当教員	中島 泰貴,安藤 郁美					
到達目標						
①与えられた資料をもとに、または自身の興味・関心があることについて、スライドを用いて発表を行うことができる。 ②発表を聞いて、内容を理解したり、分からないところを質問したりできる。 ③発表のトピックに関するディスカッションにおいて、他の参加者と協力して議論を深めることができる。 ④適切なスタイルを用い、レポートを書くことができる。 ⑤毎回ふりかえりを行い、自身の学習を客観的に把握する力を養成する。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1あるトピックについて、聞いている人が理解できるように発表することができる。	事実や自分の考えを、聞き手が理解するのにほとんど負担を感じさせずに、事実や自分の考えを口頭で説明できる。		事実や自分の考えを口頭で説明できるが、所々聞き手が理解するのに負担を感じる部分がある。		事実や自分の考えを口頭で説明しても、聞き手が理解するのに非常に負担がかかる。もしくは理解不可能である。	
評価項目2発表の内容を理解し、疑問点を解消したり、議論をすることができる。	発表をほぼ理解し、それに関する問題に正しく答えることができる。 発表内容について、自分の意見や疑問を他の人に伝えることができる。		発表をだいたい理解し、問題に、ある程度正しく答えることができる。 発表内容について、自分の意見や疑問をなんとか他の人に伝えることができる。		発表があまり理解できず、問題に正しく答えることができない。 発表内容について、自分の意見や疑問を他の人に伝えることができない。	
評価項目3適切なスタイルで、レポートを書くことができる。	適切なスタイルを用いて、読み手が理解するのにほぼ負担を感じさせないレポートが書ける。		適切なスタイルを用いて、読み手がほぼ理解可能な作文が書ける。 所々論旨や日本語の表現で理解が難しいところがある。		適切なスタイルを用いておらず、内容も読み手が理解するのに非常に負担がかかる、もしくは理解不可能である。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	普段の授業や発表を聞く力、発表する力を中心に、高専で勉学を行うために必要なアカデミック・ジャパニーズの養成を目指す。					
授業の進め方・方法	この授業では、発表すること、発表を聞くことを中心に、普段の授業で必要な日本語の力を伸ばすことを目標としている。また、発表の準備やレポート執筆、毎回のふりかえりの提出など、課題を期日までに自分で計画的に進める必要がある。 なお、授業中に日本語で話そう、書こうという意欲が見られるか、ふりかえりシートの記述から自分の能力を適切且つ積極的に把握しようとしているかなど、授業への参加態度も評価の対象とする。					
注意点	内容が難しい場合は、辞書の使用や、予習など、自分に必要なものを考えて準備してほしい。 学習・教育目標：（C－1）70％（A－1）30％					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション、前期の目標を立てる			
		2週	教科書発表①		テーマの内容を理解し、新しい語彙や表現を身につける。	
		3週	教科書発表②		テーマの内容を理解し、新しい語彙や表現を身につける。	
		4週	教科書発表③		テーマの内容を理解し、新しい語彙や表現を身につける。	
		5週	教科書発表④		テーマの内容を理解し、新しい語彙や表現を身につける。	
		6週	教科書発表⑤		テーマの内容を理解し、新しい語彙や表現を身につける。	
		7週	教科書発表⑥		テーマの内容を理解し、新しい語彙や表現を身につける。	
		8週	教科書発表⑦		テーマの内容を理解し、新しい語彙や表現を身につける。	
	2ndQ	9週	自由発表①		テーマを決め、構成を考える。	
		10週	自由発表②		それぞれのテーマについて発表する。評価する。	
		11週	自由発表③		それぞれのテーマについて発表する。評価する。	
		12週	レポート①		レポートの書式や、書き言葉の表現を身につける。	
		13週	レポート②		発表をもとにレポートを作成する。事実・自分の考えを書き分ける。	
		14週	レポート③		レポートを推敲する。	
		15週	前期全体の振り返り		前期の学習を振り返り、自己評価を行う。	
		16週				
後期	3rdQ	1週	オリエンテーション、後期の目標を立てる		自己評価を行い、後期の目標を立てる。	
		2週	教科書発表①		テーマの内容を理解し、新しい語彙や表現を身につける。	
		3週	教科書発表②		テーマの内容を理解し、新しい語彙や表現を身につける。	

		4週	教科書発表③	テーマの内容を理解し、新しい語彙や表現を身につける。
		5週	教科書発表④	テーマの内容を理解し、新しい語彙や表現を身につける。
		6週	教科書発表⑤	テーマの内容を理解し、新しい語彙や表現を身につける。
		7週	教科書発表⑥	テーマの内容を理解し、新しい語彙や表現を身につける。
		8週	教科書発表⑦	テーマの内容を理解し、新しい語彙や表現を身につける。
	4thQ	9週	自由発表①	テーマを見決め、構成を考える。
		10週	自由発表②	それぞれのテーマについて発表する。評価する。
		11週	自由発表③	それぞれのテーマについて発表する。評価する。
		12週	レポート①	発表をもとにレポートを作成する。
		13週	レポート②	定義・引用について学ぶ。
		14週	レポート③	レポートを推敲する。
		15週	後期の振り返り	1年の学習を振り返り、自己評価を行う。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	教科書発表	自由テーマ発表	レポート	授業参加態度	合計
総合評価割合	40	40	40	80	200
前期	20	20	20	40	100
後期	20	20	20	40	100